

牛のウイルス性呼吸器病に注意しましょう

ウイルス性呼吸器病は寒冷期に発生が多いですが、寒暖差の大きい時期にも注意が必要です。管内において、農場全体の牛で呼吸器症状を示す事例があり、検査の結果、牛RSウイルスの感染が疑われる事例が確認されています。

【ウイルス性呼吸器病】

➤ 主な疾病

- ・ 牛RSウイルス病
- ・ 牛伝染性鼻気管炎(IBR)
- ・ 牛パラインフルエンザなど

➤ 症状

- ・ 発熱
- ・ 鼻汁、発咳

➤ 治療法

- ・ ウイルスに対する有効な治療薬はなく、二次感染予防のために抗生物質および解熱剤の投与が主体です。



写真：IBR発症牛で見られた膿性鼻汁と流涎

(農研機構 動物衛生研究部門 ホームページから抜粋)

予防対策のポイント

【病原体を持ち込まない!】

- ・ 飼養衛生管理基準の遵守
畜舎専用の衣服および靴の着用
手指、靴、車両の消毒
導入牛の隔離 など



【ストレスの軽減!】

- ・ 換気や敷料の交換など

【感染予防!】

- ・ ワクチンの投与(獣医師と相談の上)

皆で牛を病気から守ろう!!

神奈川県県央家畜保健衛生所

〒243-0417 海老名市本郷 3658

TEL 046-238-9111 ファクシミリ 046-238-9124

